

北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入の検討について

目 的

美しく個性的な北海道づくりを目指して、地域住民と連携して沿道環境整備など美しいツーリング環境の創造や、地域資源の保全と活用による個性的な地域環境の創造を図ることにより、国民及び海外からの旅行者に対して質の高い旅行空間を提供するとともに、これら諸活動等を通して観光客入り込み数の増大及びそれに伴う観光産業の振興と地域における雇用の創出を目的として、米国で取り組まれているシーニックバイウェイ制度を参考とし、北海道独自の制度を検討するものである。

「北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会」の設置

委員会の設置及びその目的

米国におけるシーニックバイウェイ制度を北海道へ導入するため、観光、景観、交通計画、住民参加等に係る有識者、学識経験者による「北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入モデル検討委員会」を設置する。

委員会は、複数のモデルルートを選定・試行を通して、地域のNPO法人、地域住民、自治体、北海道、国等と連携して取り組まれる沿道景観の整備、地域環境の保全、一般旅行者への情報提供等に対して、シーニックバイウェイ制度策定における課題及び対策の検討、運営に関する知見の蓄積、認定・活動結果に係る評価手法等の検討を行う。

委員会構成

委員会は、以下に示す有識者、学識者から構成し、この他、必要に応じ、学識経験者、地域で活動している各種団体、有識者等の参加を求めることとする。

<北海道におけるシーニックバイウェイ制度導入検討委員会 構成(敬称略)>

委員長 ^{いしだ}石田 ^{はるお}東生 筑波大学社会工学系教授

委 員(五十音順) 石山 醇 (社)日本旅行業協会 理事・事務局長
 稲村 健蔵 北海道観光連盟副会長
 臼井 純子 (株)富士通総研PPP推進室室長
 高野 伸栄 北海道大学大学院工学研究科助教授
 東村 有三 C.S.P.T地域計画機構代表取締役
 前田 博 岐阜県森林文化アカデミー教授
 麦屋 弥生 (財)日本交通公社地域調査室室長
 (国土審議会北海道開発分科会企画調査部会委員)

委員会検討スケジュール

